

## 第2回 松田町総合戦略審議会 議事録

1. 日 時 令和6年10月8日(火) 14:00~16:00
2. 場 所 役場4階会議室
3. 出席者 委 員：別紙「委員等名簿」のとおり（吉田委員(代理竹松氏)、田中委員、西田委員  
欠席)  
町 側：別紙「委員等名簿」のとおり  
事務局：政策推進課（鍵和田課長補佐兼係長、鎌田主査)
4. 配付資料
  - ・次第
  - ・松田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価（資料1-1）
  - ・デジタル田園都市国家構想交付金事業の評価（資料1-2）
  - ・1次評価・2次評価（案）のまとめ（資料1-3）
  - ・松田町人口ビジョンにおける将来目標人口の検討（資料2）
  - ・松田町デジタル田園都市構想総合戦略(仮称)の体系図（素案）（資料3）
  - ・松田町総合戦略及び国交付金事業の進行管理等について（参考資料1）
  - ・令和6年度第1回松田町総合戦略審議会議事録（参考資料2）
  - ・令和5年度松田町総合戦略審議会議事録（参考資料3）
  - ・松田町におけるデジタル化の取組みについて（参考資料4）
  - ・デジタル田園都市国家構想交付金関連事業について（参考資料5）

---

### 【概要】

司会進行（鎌田主査）

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議 事
  - (1) 松田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について
  - (2) デジタル田園都市国家構想交付金事業の評価について
  - (3) 第1次評価・第2次評価（案）のまとめについて
    - ・事務局（政策推進課）より、松田町総合戦略及び国交付金事業の進行管理等について（参考資料1）、松田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価（資料1-1）、デジタル田園都市国家構想交付金事業の評価（資料1-2）、1次評価・2次評価（案）のまとめ（資料1-3）についての説明を行う。
    - 重田副会長：資料1-1の関係で形式的な部分ですが2つ確認したい。1つ目は1次評価、2次評価の関係で、小項目の1次評価は事務局の方で行い、それを踏まえて大項目の2次評価を審議会の中で議論するという認識でよろしいか。
    - 事 務 局：ご推察の通りで、1次評価が庁内で評価したもので、2次評価を議論頂きたいと考えている。
    - 重田副会長：承知した。  
2つ目は1次評価の中で年度ごとの評価をしているものと、累計値で評価しているものが混在しているが、これはこの形でよいのか。累計のやり方として、

全て5年度までの累計値にするなどのやり方もあるかと思うがいかがか。

事務局：累計については、現時点で令和6年度までで分かる範囲で累計値とさせて頂いている。令和5年度までの累計値と悩んだ部分ではあるが、分かる範囲で令和6年度まで計上し、数値を設定させて頂いている。

重田副会長：評価方法にこだわりがあるわけではないが、評価年度が令和5年度までと令和6年度までという、ものによっては評価が変わってくる状態だがそれでよいのか。

事務局：今回については令和5年度単体というより、令和2年から4年間を総合戦略で定めているということもあるため、分かる範囲で令和6年度についても見込みで記載している。混在する部分もあるが、全体を通じて分かる範囲で記載し、そのうえで評価して頂ければと思う。

古舘 会長：4年間の累計をもって評価されると理解した。

本日の資料については事前送付された資料からの修正箇所があるが修正した背景をご説明頂きたい。

事務局：例えば資料1-1のP3の2次評価（案）、P5②1次評価など赤字で修正させて頂いているが、資料1-3の表をもとに各KPIの達成率の平均を見ながら1次評価をしていたが、集計ミスがあった関係で今回配布の資料を正として評価結果を議論して頂ければと思う。

古舘 会長：部内で見直して、こちらの評価の方がいいのではないかとということで修正されたと理解した。私としても事前に送付された資料では厳しく評価されているという印象があった。今回の修正内容を見て、ある程度適正に評価し直されていると感じた。

その他何か意見はあるか。

内沢 委員：資料1-2のAI オンデマンド交通について確認をさせて頂くが、会員数の実績値が1,228人となっているが、会員数が1,228人ということでよろしいか。

事務局：会員数である。

内沢 委員：承知した。

次に利用者数であるが、令和5年度は目標値が10,000人だが令和6年度は60,000人となっている。その辺りの理由をお聞かせ願いたい。

事務局：利用者数は延べ乗車人数であり、令和5年度は乗車人数をカウントし10,000人という目標値を定めている。令和6年度の60,000人、続いて令和7年度が50,000人となっているが、KPIで求められているのが増加数であるため、令和5～6年度まで足して実数としては70,000人を目標としている。

令和5年度については10月からの運行開始で半年の期間であったため、目標値は10,000人となっている。令和6年度は4月から通年での乗車人数であるため数としては大幅に増えている目標値となっている。

内沢 委員：9月末現在の乗車数などは分かるか。

事務局：後ほどご報告させて頂く。

鈴木 参事：資料1-1で令和5年度の黒枠部分で評価するのと全体の累計で評価するという部分に関してだが、例えば、令和6年度についても何月現在の数字なのか、どの程度見込みがあるのかで全く達成状況が変わってくる。そういった場合であれば、やはり統一し、例えば、資料1-2のように令和5年度実績までの中で評価するようにした方がよいのではないかと思います。

資料1-1の防災訓練の参加率などについても延期になって数字が入っていない部分がある。令和6年度についても実績値が不確定な部分があるので、そういった部分も踏まえて皆さんで評価すべきなのではないか。

古舘 会長：確かにまだ令和6年度は終わっておらず、何月時点で評価しているのかというものはっきりしていない。令和6年度を抜き、令和5年度単独の年度を評価するというのでよいか。

事務局：令和6年度の数値が入っているものと入っていないものがある。分かる範囲の数値は推計を記載しているが、正否については各課でばらつきがあるため参考値程度に見て頂きたい。累計が記載されている項目については分かる範囲内で直近の実績値が入っていると申し添えさせて頂きたい。

古舘 会長：評価はあまり変わらないというように理解させて頂く。

それでは資料1-1の2次評価について進めていく。P1「1 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち」について「やや遅れています」という評価だがいかがか。

異議がなければ、「やや遅れています」という評価にさせて頂く。

次にP3「2 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち」こちらの評価が「概ね順調に進んでいます」だが当初の丸2つから修正されているがこちらについてはいかがか。

異議がなければ、「概ね順調に進んでいます」という評価にさせて頂く。

次にP4「3 賑わいと雇用を生み出し、働きがい育むまち」についてだが、1次評価の①農林業が丸4つに修正されているがいかがか。「農業の新規就業者数」については令和5年度では0人となっているが令和2～3年度の時点で既に達成し、令和6年度はさらに2人増えているということで「順調に進んでいます」でよいかと思う。2次評価についてはどうか。

異議がなければ、「概ね順調に進んでいます」という評価にさせて頂く。

P8「4 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち」これについては「やや遅れています」となっているがいかがか。

まず、私の方から2つ質問させて頂きたいが、P9の2つ目のKPIについて「空家の利活用物件数」の目標値が22件あるにも関わらず実績値が4件というのは甚だ寂しいものであるが、これについてはどうしてこういう結果になったのかということが1点と、次のP10でこれも2つ目の「民間賃貸住宅家賃補助事業申請件数」ということで15件の目標値に対して実績値が1件とこれも数字的には非常に少ないという感じであるが、これにはついては松田町に入ってきた人が借りなくてもよいといった場合もあると思うが、実態としては賃貸住宅を借りた人は多いが申請数が少ないという話なのか、この辺りも含めてご説明頂きたい。

重野 係長：まず「空家の利活用物件数」についてお話させて頂く。空家の相談は毎日のように受けており、その中で活用できそうなものを空家バンクに載せて利活用を図っていくという取組みをしている。空家の相談件数は年々増えており、できれば、そこから利活用に繋げていきたいが、最近の相談内容としては「物件の相続がされていない」、「土地と建物の所有者が違う」などすぐに利活用に繋がるような物件ではないという現状があり、実績値が伸び悩んでいるのが状況である。

続いて P10 の「民間賃貸住宅家賃補助事業申請件数」であるが、まず制度をご説明させて頂きたい。松田町の中には様々な民間の賃貸物件があるが「民間賃貸住宅家賃補助事業申請件数」の件数を計測しているのは空家バンクに載せている物件の中で成約した物件となっている。先ほど事務局からの解説の中であったように、事業の対象者は若年の方、子育て世代の方、令和 4 年からは学生の方を対象にしているが、空家バンクに掲載されている中で成約したものをカウントしているため伸び悩んでいる。先ほどの説明と重複するが、なかなかすぐに活用に結びつくような空家が無く伸び悩んでいるということでご理解頂きたい。

- 古舘 会長：では、空家バンクに登録されていた数が実際 1 件しかなかったということか。
- 重野 係長：空家バンクに掲載している賃貸住宅はいくつかあるが、子育て世帯の方は 1 件のみの成約であったということである。
- 鈴木 参事：補足として、P9 の「空家の利活用物件数」だが令和 6 年度を見て頂くと、もう既に 7 件成約数があるが、令和 5 年度から空家の改修や解体で利用できる補助金制度が開始され、令和 6 年度にかけて利用者が非常に多く、補正予算の中でも増額した経緯もあるため、今後空家の利活用はさらに進んでいくことが予想される。
- 古舘 会長：P8 に戻るが「やや遅れています」ということでよろしいか。  
異議がなければ、「やや遅れています」という評価にさせて頂く。  
次に P11 「5 自然と共生し、安全安心な環境を育むまち」これについてはいかがか。  
異議がなければ、「やや遅れています」という評価にさせて頂く。  
最後に P13 「6 みんなで協力し、みんなの力を育むまち」ということで、これも「やや遅れています」ことだがいかがか。  
私の方から質問させて頂くが「地域懇話会への参加者数」で 350 人の目標値に対して実績値が 67 人というのは令和 2 年から増えてはいるようだが全体的にみて少ない。これは目標値が高すぎたのか実績値が少ないだけなのかこの辺はどうお考えか。
- 鍵和田係長：目標値を設定した当初は町内 15 会場で座談会を開催していた。目標値は 15 会場で開催した場合の目標値となっているが、コロナ禍に入り、形を変えたやり方で寄 1 箇所、松田 1 箇所、さらに希望があった自治会で開催し、意見を頂戴するというように行っている。
- 古舘 会長：承知した。  
P8 にもう一度戻るが新松田駅・松田駅の乗車人員数について、今回小田急電鉄株式会社から栗林委員がいらっしゃっているので、コロナ禍から回復していると思われるが、この辺りの実態をお聞きしたい。
- 栗林 委員：全体的には 7～8 割程度戻ってきているというところだが、実績値が定期外であるため、若干インバウンドの関係で多めの数値が出ているように思う。新松田駅だけに限って言うと、この程度の数値であると思うが江ノ島線は学生等が増えている場所もあるため、全体で見ると小田急電鉄としては 8 割程度だが新松田駅ではかなり本来の数値に近づいていると思われる。
- 古舘 会長：承知した。  
他に異議がなければ、2 次評価は全て事務局が設定した評価でよいとさせて頂

く。

古舘 会長：資料1-2のオンデマンド交通について、順調に進んでいるように思われるが、オンデマンド交通について補足があれば事務局からお願いしたい。

事務局：まず、先ほど内沢委員より頂いた質問に関して、資料が用意できたのでご報告させていただきます。AI オンデマンド交通利用者数について令和6年度の分かる範囲で教えて頂きたいとのことで、令和6年度の4～8月までの実績として11,928人にご利用頂いている。併せて、1つ目のKPIであるAI オンデマンド交通の会員数については8月末の時点で1,686人のご登録を頂いている。

(4) 松田町人口ビジョンにおける将来目標人口の検討について

(5) 松田町デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）の体系図（素案）について

- ・支援委託事業者（都市計画センター）より、松田町人口ビジョンにおける将来目標人口の検討について（資料2）、松田町デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）の体系図（素案）（資料3）についての説明を行う。

古舘 会長：ご説明頂いた内容で何か質問、意見があればお願いしたい。

大きな変更としては、資料3の基本目標が第2期までは6つあったところを4つに絞り込んだということと、資料2では松田町の目標人口である1万人を2040年までキープするというのが課題になっているということが重要点であると理解した。

体系図に関しては大枠がこのような形で今後2、3回と審議会がある中で新たに追加されていくといったことだと思うのでこちらの内容でよいかと思う。

(6) その他

- ・事務局（政策推進課）より、松田町におけるデジタル化の取組みについて（参考資料4）、デジタル田園都市国家構想交付金関連事業について（参考資料5）についての説明を行う。
- ・総務課より、デジタル田園都市国家構想交付金関連事業について（参考資料5）の3. 日本初！「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」整備事業（R6）についての説明を行う。
- ・子育て健康課より、デジタル田園都市国家構想交付金関連事業について（参考資料5）の4. デジタルを活用した健康の見える化・データヘルス推進事業（R6）についての説明を行う。
- ・観光経済課より、デジタル田園都市国家構想交付金関連事業について（参考資料5）の5. 松田町デジタル利用誘客システム事業（R6）についての説明を行う。

古舘 会長：3点説明頂いたが何か質問、意見があればお願いしたい。

特に無いようなので本日の議事は終了とさせていただきます。最後に重田副会長から全体の講評及び閉会の挨拶をお願いしたい。

重田副会長：本日の前半は前期の進捗状況のとりまとめといった内容であったが、やはり数値にコロナの影響が出ていたと感じている。後半は今期の新たな総合戦略についてお話し頂いた。

神奈川県としては県西地域活性化プロジェクトということで平成26年から取り組んでおり、令和3年に一度改定しており、移住定住に向けて関係人口の創出、交流人口の増加などの取組みを進めてきた。その結果、県西地域全体においては人口については転入数が転出数を上回る社会増があった。そうした状況も踏まえ、3月に第3期の県西地域活性化プロジェクトを進める予定である。そ

れにあたっては移住定住の更なる促進に重点を置いているところである。  
また、私は県西地域県政総合センターというところに所属しているが、足柄上  
地域の足柄観光協会の事務局も兼務しており、そこでも足柄上地域の PR なども  
務めている。今年度も SNS の発信や観光資源の発掘などにも力を入れていきた  
い。連携できる部分は連携しながら地域の活性化に務めていきたいと考えてい  
る。

これで第 2 回松田町総合戦略審議会を終了させて頂く。

#### 4. 閉 会